



月 七
日 営業所常磐新開社
一部二錢一ヶ月五十錢
廣告料 一行 五十錢

本社 小名濱町古港一
◆ 支局所在地 ◆

平町材木町二〇
四倉町停車場通
湯本町新校舍前
植田町幕町

福島縣機船底曳網

漁業者諸君に告ぐ

在熊本 中山琢三

一齊整理

報酬度外視し縣水產界の

解説に非常なる隙空となる

と同時に、如斯き大問題に

當つて無責任なる立場より

解決に起らるゝ結果問題

と同時、如斯き大問題に

要せられた結果隣縣の茨城

を完全採り盡す恐れがあ

からず、不平と不安とを起

して年々不漁に泣きつぶ

される事は尋ね然の事と

して魚の種子を無くする

の内中央亭で發起人總會及

び評議員會創立總會を開催

したが發起人有志左の諸氏

が肝要に考へます。

幸ひにも本縣の漁場は

地に於て現れないの

七十四名に對し依頼狀を發

送した

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

二ヶ年の結果を見て公平な所謂暗中模索の努力を強理由は本業の終達は底魚類を完全採り盡す恐れがある批判を與へらん事望む宮城の實情と比較して少なり亂獲の結果は漁場に荒廢と同時に、如斯き大問題に

要せられた結果隣縣の茨城

を完全採り盡す恐れがあ

からず、不平と不安とを起

して年々不漁に泣きつぶ

される事は尋ね然の事と

して魚の種子を無くする

の内中央亭で發起人總會及

び評議員會創立總會を開催

したが發起人有志左の諸氏

が肝要に考へます。

幸ひにも本縣の漁場は

地に於て現れないの

七十四名に對し依頼狀を發

送した

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五〇貫八割

アデ一八貫十五割

名魚越高單價

七月二日 晴

小名濱魚市場調査

かつを八三本吉一合

南西ノ風雲リ

十七度九分

伊藤達三(三菱)出田孝行

タナゴ五

